

●▲ みねのぶ



2014峰延まつり(JR峰延駅前、8月14日)

■発行日/平成26年9月1日/No.1349号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

2014峰延まつり開催される

8月14日、JR峰延駅前で峰延まつり実行委員会（峰延を活性化する会、美田民俱樂部、美助っ人俱樂部、峰延手打ちそば愛好会、峰延女性の会）が2014峰延まつりを開催し、ちようどお盆の帰省で実家などに来ている方々も多く訪れ賑わっていました。

この日一日だけの開催で、朝8時には三笠岡山のパークゴルフ場でパークゴルフ大会がスタート、峰延駅前の会場では、11時30分からの農産物計量タイムトライアル、かぼちゃDEボーリング、ストラックアウト、バンド演奏、カラオケ、子供盆踊り、ご当地〇×クイズ、お楽しみ抽選会のほか、郷土芸能の峰延傘踊り、木遣り太鼓、峰延獅子舞などの演舞があり、フィナーレの20時30分まで盛りだくさんのイベントが用意されたほか、焼きそば、峰延産そば粉を使った手打ちそば、峰産産ゆめぴりかのとりめし、美唄焼き鳥生ビール等の店が立ち並び、いつもは静かな峰延もこの日一日は大変な賑わいでした。

J A 全国監査機構の 監査受ける

7月28日から8月1日の5日間、J A 全国監査機構の一般監査が実施されました。

J A 全国監査機構の監査は全J A に対して毎年実施されているもので、当J A では前年は7月に受けています。監査機構の3人の監査士により決算日（平成26年1月31日）を基準日として業務全般の決算結果の検証の他、内部監査の取組状況、経営定期点検の実践状況等について監査が行われました。最終日には常勤理事、監事、幹部職員に対し監査結果の概要報告が行われ、指摘や要改善事項は後日文書で通知を受け、それに対する回答は理事会で審議の上監査機構に回答することとなります。

第2回自治監査終わる

本年7月末を基準日とする第2回自治監査が8月20日から22日までの3日間、浅香代表監事以下3名の監事によって執行されました。本年度の第2四半期における事

業の進捗状況及び会計処理の状況等について精力的に監査を行い、最終日に常勤理事、幹部職員に対して今回の監査結果について講評が行われました。

おくやみ申し上げます

阿賀悦子さん（64歳） 8月23日 美唄市豊葦町1区

職員の採用

J A みねのぶ店に職員を採用しました。コープさつぽろ宅配事業本部営業部営業マネージャーを退職し8月21日から当J A 店舗に勤務しています。



亀谷 勝さん 62歳 岩見沢在住

「明るく元気な店舗を心掛けて頑張ります。皆さまのご利用、お声掛けを心よりお待ちしております。」

一報徳一

「昔の木の実は今の大木」

世の中の道として、小を積むことを尊ぶ。小を積んで大となす日掛縄綱法のようなのは、人々は疑わずに努める。これこそ天下の法とすべきものだ。ところが目先を離れた高遠なことは、人々はとても企て及ばないと思っている。けれどもこれは根本を考えないからである。いま大地主がここにあるとすると、これはにわかには大地主になつたものではない。始めは一鍬一鍬の小を積んで、ついに大地主となつたものだ。また芝増上寺の二本柱や、永代橋の橋げたのような巨材でも、その始めは小さな種から生じて、幾百年を経、風雨を冒し寒暑をしのぎ、日夜精気を働かして、大きくなつたものだ。昔の種だけがこうなのではない。今の種でも同じことだ。とすれば、昔の種は今の木、今の種は後世の大木である。人ははつきりとこの道理をわきまえて、大をうらやまず、小を恥じず、すみやかにしようと思わず、朝から晩までよく努めて、小を積む効果をなすとげるべきである。

（語一六七）

**創立100周年記念定期貯金
キャンペーン当選者の発表**

当JAが本年6月2日から7月31日の期間に行っていた夏の定期貯金キャンペーンの当選者を発表します。今回のキャンペーンは当JAの創立100周年を記念し、新規預入の定期貯金20万円に対し1回の抽選で、JAみねのぶ店専用の購買券2万円分をプレゼントするものです。抽選は8月1日に森川組合長と伊藤専務が行い、当選者は次の方々です。(希望しない方は掲載していません。順不同)
塚本静子さま、仲河博子さま、



抽選をする森川組合長

澤田三夫さま、善来寺永代経さま、前川和子さま、平 蔵三さま、上野良一さま、渋谷和男さま、村本秀子さま

**JA女性部が美唄歌舞裸祭り
フリーマーケット出店**

8月3日、JA女性部(吉村俊子部長)が美唄で開催の歌舞裸祭りにフリーマーケットを出店しました。

フリーマーケットに出す商品は部員の皆さんから野菜や日用品を提供してもらい、開催前日に役員と班長とで袋詰めや値付け等の準備を行いました。

当日は猛暑にもかかわらず人が多く、女性部出店のテントにも買い求めのお客さんが絶えず、陳列する野菜や日用品の補充が間に合わないほどでした。小さいズッキーニをたくさん提供されたので100円で袋詰め放題を行ったところ行列ができる人気振りでした。用意した野菜や日用品は午後3時頃には完売し、対面販売で「顔が見える生産者」として消費者と交流もでき峰延産の安心・安全でおいしい野菜が喜ばれていました。



女性部のフリーマーケットは大盛況

**峰延農協年金友の会が
スポーツ大会開催**

8月7日、峰延農協年金友の会(井沢弘明会長)のスポーツ大会が峰延小学校体育館で開催されました。

このスポーツ大会はスポーツ競技を通して会員相互の友好の輪を広げるとともに健康増進を図ることを目的に毎年開催を続け今年33回目となります。

例年通り真夏の屋内での風通りが悪く暑い中で開催され、参加者の皆さんは汗だくで奮闘してました。



汗だくで奮闘

参加者は146人余り、井沢会長の挨拶、JA伊藤専務の祝辞に続いて全員で準備体操を行い、全11種目にグループまたは個人で全員が参加し、童心に戻って楽しく競技を行っていました。JA伊藤専務は「瓶釣り競争」に出場し交流を深めていました。
心配された怪我人や熱中症等はなく、楽しいひと時を過ごしていました。

**JA女性部
「部員1人タオル1本運動」
で集まったタオルを寄贈**

8月18日、女性部（吉村俊子部長）が美唄市峰延町公園にある養護老人ホーム恵風園・特別養護老人ホーム恵祥園を訪ねタオルと綿布を寄贈しました。

家庭にある粗品や記念品としてもらうタオルや綿布または使い古しの綿布（洗濯済）1本を全部員から提供してもらい福祉施設等で役立ててもらおうと1年に1回寄贈を続け、今年で11年目になります。

今回は豊葦支部の菊池茂子さんが千代紙で爪楊枝入れを作ってくれてタオル等と合わせて寄贈しま



寄贈する女性部役員の皆さん

した。
今年寄贈したのはタオル31本、綿布4・8kgで大変喜ばれました。部員の皆様のご協力ありがとうございました。

人事異動の実施

本年8月22日付けで、組織機構の変更及び人事異動を次のとおり発令しました。

1. 機構の変更

営農資材部署を販売企画課の一部署と配置し経済事業全般を統括するように変更。

2. 発令内容（一）内は前職

- ・ 工藤宏章 総務課長(兼)営農販売課長（総務課長）
- ・ 田中和憲 販売企画課主任(兼)渉外課主任
- ・ 外課主任
- ・ (農業経営課主任(兼)渉外課主任) 板井田裕二 農業経営課主任(兼)販売企画課主任
- ・ (農業経営課主任(兼)渉外課主任) 川越基弘 農業経営課 (営農販売課長)
- ・ 藤崎 心 農業経営課(渉外課)
- ・ 馬場崇文 販売企画課 (農業経営課)
- ・ 数藤 鍊 販売企画課(兼)農業経営課 (農業経営課)

- ・ 阿蘇佑里子 営農販売課 (農業経営課)
- ・ 地崎弘一 監査室(兼)営農販売課 (監査室)
- ・ 伊藤珠美 総務課 (総務課(兼)営農販売課)
- ・ 奥山翔平 営農販売課 (総務課見習い)

訂正

JAみねのぶ7月号(No.1348)の記事「農業委員決まる」で美唄市の推薦委員の「且見 隆」さんが欠落してしまいましたので、次のとおり訂正いたします。関係者の皆さまには謹んでお詫び申し上げます。

- ▼(訂正後)
- ・ 美唄市・推薦
- ・ 森川和徳 (JA) 再
- ・ 且見 隆 (空知中央NOSA I) (訂正前)
- ・ 森川和徳 (JA) 再

昨年度の食料自給率39%4年連続

農林水産省は平成25年度のカロリーベースの食料自給率が4年連続で39%になったと発表しました。国内で消費された食料がどれだけ国産で賄われたかをカロリーを基準にした割合で示すもので、政府

が掲げる50%の目標は達成できない状況が続いています。国内で消費された食料全体の20%余りを占める米が消費税率上げ前の駆け込み需要で増えたが、小麦と大豆が天候不順の影響で生産量が減り、全体として自給率は横ばいになったと分析されています。

政府は6年後の平成32年度までに自給率を50%までに引き上げる目標を掲げて牛肉や豚肉等の自給率を上げるため飼料の国産化の取り組みを進めています。目標の達成できない状況が続いていることから、政府には目標の見直しと自給率引き上げの対策強化が迫られています。食料自給率は、昭和35年度の79%をピークに漸減が続いていて平成5年度に過去最低の37%、その後も高齢化や耕作放棄地の増加等で国内農業の生産基盤が弱体化し40%前後の状況が続いています。

食料自給率には、国産の食材をカロリーに置き換えて示した「カロリーベース」と金額に置き換えた「生産額ベース」の2種類がありますが、日本はどちらの計算でも先進国の中で最低水準となっています。

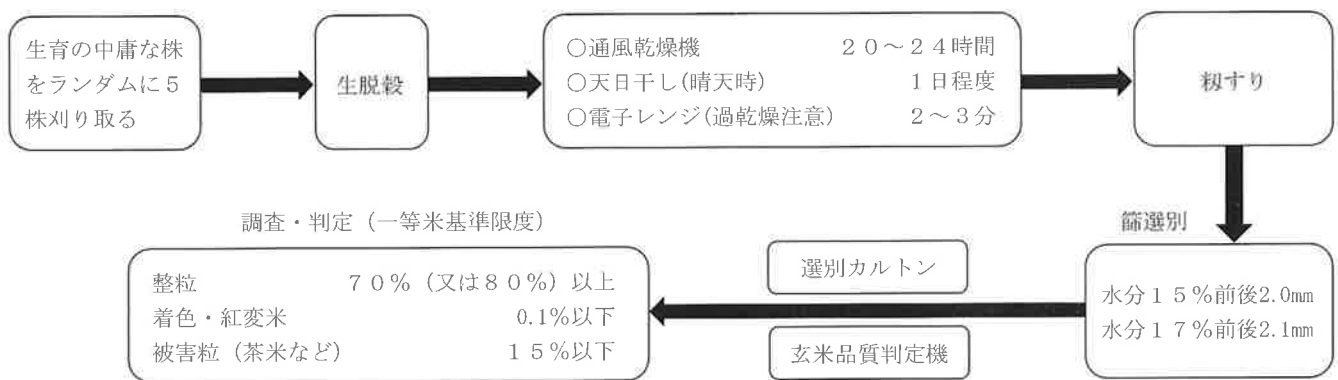
営農技術情報

水稻

① 収穫適期の判定

本年は茎数が多く、登熟期間が長くなっており、圃場や品種間での生育のバラツキが見られます。登熟のバラツキが大きい圃場では、出穂後の登熟日数や籾黄化率だけでは適期刈取判定が難しくなっています。必ず試し刈りによる玄米判定を実施しましょう。稲の収穫適期は気象や品種にも異なりますがおおむね7〜10日間程度です。玄米判定法は、ミニダップで玄米にし、収穫適期を判定する方法です。登熟は一般的に一日平均2〜3%程度進みますが、不稔の多い穂は5%程度進みます。整粒歩合が70〜80%になる時期を予想し、収穫適期を判定します。刈取時期が遅れると、サビ米や胴割米が増加し、著しく品質が低下します。尚、9月3日〜9月17日まで、峰延農協農産物検査場所ですり適期刈取判定を行いますので、希望され

図1 試し刈りによる収穫適期判定法



る方はサンプルをご持参下さい。

② 二段乾燥で品質向上

二段乾燥は一次乾燥で籾水分を17〜18%まで低下させ、一時貯蔵後に本乾燥を行う方法です。通常の乾燥方法では、水分のばらつきのある籾を均一にするには難しく、過乾燥になりがちです。また、乾燥機の能力に制限され、乾燥に長時間要するため、収穫作業が遅れがちになります。高品質米を出荷するためには、胴割粒等の被害粒防止のため二段乾燥を検討しましょう。

(1) 二段乾燥のメリット

- ア 一次乾燥時間が早まり、計画的な刈取りが可能になる。
- イ 籾水分の均一化により過乾燥になりづらく、玄米の光沢が良くなる。

(2) 二段乾燥を行うための一時貯蔵や保管場所などの作業しやすい施設の確保

③ 稲稈の適正処理
稲稈は焼却することなく圃場外に搬出し、堆肥化しましょう。搬出が困難な場合、透排水性の良い圃場では秋のうちに鋤込み、翌年の作付に備えましょう。

いもち病の罹病株を鋤込むと次年度のいもち病の発生源となりますので、鋤込みはせず圃場外に搬出しましょう。

畑作

◎ 秋播き小麦

秋播き小麦の安定生産と品質向上のため、基本技術の再確認を行います。

① pHの矯正

目標のpHは5.5〜6.0です。低い場合は石灰質資材で矯正してください。

立枯病の発生助長が懸念されますので、連作圃場でのpHは5.5を目標に矯正して下さい。

② 排水対策

越冬後、融雪水が滞水しないように、サブソイラーなどによる心土破砕や、明渠などの対策を行いまししょう。

③ 播種時期

播種の目安は、越冬前の小麦の葉数が6.5葉となるよう行います。当地区の平年では9月15日前後が播種適期です。

稲刈り作業との競合や悪天候で播種が遅れる場合でも9月20〜25

日までには播種作業を完了させましょう。

播種が遅くなると、雪腐病の多発や穂揃い不良による品質低下を招く恐れがありますので適期に播種が完了できるように、天候を考慮した計画的な播種に努めてください。

④ 播種量

播種量は、播種日に応じて調節します(表1)

極端な厚播きは過繁茂となり雪腐病が助長されますので、注意が必要です。

⑤ 播種深度

播種深度が深すぎると越冬前の生育が劣ったり、雪腐病などの被害も受けやすくなり、欠株による減収や雑草害を増長させます。播種作業前に畝毎の種子位置を必ず確認し、播種深度が2〜3cmとなるよう調整しましょう。

⑥ 施肥

土壌診断を行い、分析値に基づいた施肥を心がけましょう。

基肥は、窒素成分で10a当たり4kgを目標にし、地力や前作により多少増減させます。

リン酸は追肥効果が低いので、全量基肥とします。

⑦ 除草剤

圃場の雑草の種類により、薬剤を選択してください。(表2)

特にスズメノカタビラを始めとしたイネ科雑草は、秋に対処する事が重要です。

◎ 大豆

雑草が繁茂している圃場では非選択性除草剤「ラウンドアップマックスロード」を刈取り前に使用しましょう。

ラウンドアップは雑草処理として非常に有効な手段ですが、使用時期を誤ると収量・品質の低下に繋がりますので、登録内容を確認の上、適正に使用して下さい。

また茎水分・果実水分の高い雑草は、茎葉が枯れても果実が残る場合がありますので、イヌホウズキなど汚粒の原因となりやすい雑草については抜き取りを行うなど特に注意して下さい。



表1 秋小麦「きたほなみ」播種日別の播種量

播種方法	ドリル播き		大豆間作
播種月日	9月15～20日	9月20～25日	大豆の葉が黄化し始めた頃(晩限9月15日まで)
播種量	6～7kg	7～8kg	10～12kg

表2 秋小麦の除草剤について

薬剤名	10a当たり使用量	使用時期	主な対象雑草	備考
ガルシアフロアブル	150～250ml	播種後出芽前	スズメノカタビラ、イヌカミツレ、1年生イネ科雑草、1年生広葉雑草	スズメノカタビラ、イヌカミツレどちらの発生も多い場合。
	100～200ml	小麦出芽直前～小麦3葉期		
ボクサー	400～500ml	播種後～麦2葉期まで	スズメノカタビラ、1年生イネ科雑草、1年生広葉雑草	スズメノカタビラに効果が高いが、イヌカミツレには効果が劣る。
ガレース乳剤	200～250ml	播種後発芽前	ハコベ、ナズナ、イヌカミツレ、1年生イネ科雑草、1年生広葉雑草	生育期処理でスズメノカタビラに効果が劣る。
	100～150ml	麦1～3葉期		
エコパートフロアブル	50～100ml	小麦2～4葉期	ハコベ、ナズナ、スカシタゴボウ、ナタネタビラコ	ナタネタビラコ等の難防除雑草が発生する圃場は秋処理を実施。

表3 大豆の除草剤について

薬剤名	適用雑草	使用時期	10a当たり使用量		本剤の使用回数	備考
			薬量	希釈水量		
ラウンドアップマックスロード	1年生雑草	落葉終期～収穫14日前まで	500ml	50～100L	1回	使用時期を遵守すると共に成熟の遅れた株が圃場内に残っている場合は、散布前に抜き取る。